

創立70周年を迎えて・・・



我が昭和橋中学校は、今から70年前の昭和26年（1951年）、一柳中学校から分離・独立して誕生しました。生徒数492人、計9学級の船出でした。

記録を辿ると…それ以前は、「一柳中学校昭和橋分校」（現在の学校の所在地）、さらにその前は「一色中学校昭和橋分校」として、中野新町の神社付近にあったと聞いています。70年前の昭和26年に、一柳中学校が今の一柳中所在地に移動したときに、昭和橋中が誕生したことになります。

開校（分離・独立）当時の昭和橋中は、校庭に市立工業高校の実習棟があり、市工の定時制と同じ校舎であったと聞いています。

<初めて知りました・・・（当時の記録等より）>

① 「八剣中学校」??

校名は、当時の一柳中学校の先生方が、この土地の町名から「八剣（はっけん）中学校」にしようという意見でまとまっていたそうです。

しかし、地域や学校の皆さんから親しまれるようにと、それまでの「一柳中学校昭和橋分校」から『昭和橋中学校』になったそうです。

② 創立当時に校歌が3曲??

今、私たちが歌っている校歌の他に、「応援歌」（『我等の昭和橋』、『春は草萌ゆ』）のような曲が2曲ありました。どちらも当時の先生方が作詞・作曲されたようです。

③ 3校親善駅伝大会

分離・独立した当時、“兄弟校”の3校（一色中・一柳中・昭和橋中）で、親善駅伝大会が毎年開催されていました。

その後、プールや格技場の完成、増改築や大規模改修工事等を経て、現在では恵まれた教育環境の学校となっています。また、学校の規模で見ると、現在の生徒数は419人、特別支援学級2学級を含む14学級、市内では比較的小規模の中学校となりました。昭和37年（開校11年目）のピーク時には、生徒数1,128人（学級数は、23学級）、今の3倍近い生徒が在籍していた時期もありました。

このような変遷を辿り、69年間に13,870人もの卒業生を送り出し、多方面でご活躍の方々を輩出しています。

こうした70年の歴史と伝統は、開校以来、本校発展にご尽力いただいた教職員、保護者、学区の皆様方のお支えなくしてはあり得ません。学校・PTA・地域（学区）の三者の信頼で結ばれた連携こそが、本校発展の礎 [いしずえ] となっていることは、言うまでもありません。

教職員の地道な取り組み、保護者・地域の皆様の高い「教育力」のおかげで、今でこそ

ご存知のような落ち着いた学校ですが、学校が荒れた時代、多くの困難に直面したこともあったと思います・・・。そんな時も、三者の協力・連携、そして「昭和橋中のためなら」、「この町のためなら」と多くの方が行動してくださったからこそ、現在の昭和橋中学校があると考えます。こうした学校や住む町を誇りに思う心、温かい思いやりの心である「学校愛」「地域愛」こそが、本校の財産になっています。今後も引き継いで行く大切なものだと思います。

今後も、地域と共に歩み、地域と共に発展する学校であるよう、教職員・全生徒で努力していくことをお誓いいたします。今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和3年11月4日

名古屋市立昭和橋中学校長 加藤厚司

【お礼】

70周年を迎えるに当たり、昭和橋・玉川両学区よりご寄付をいただきました。

そのお金で、「70周年記念Tシャツ」を作成し、9月22日の校内体育大会において、全生徒・教職員で着用し、競技しました。生徒にとっては、思い出に残る大会となり、学年色別の記念Tシャツは、一生の宝物となりました。

本当にありがとうございました。



▲ 70周年スローガン・デザイン

～『昭和橋!! 心はいつも虹色に!』～



▲ 70周年記念Tシャツ

～1年:青、2年:赤、3年:緑、GH組:黄～

スローガン:近藤潤也君(2年B組)、デザイン:黒田思音さん(3年A組)

【お詫び】

11月4日(木)、東区のウィルあいちにて、本校発展にご尽力いただいたご来賓・学区の皆様・保護者様をお招きし、ささやかではありますが「創立70周年記念式典」を開催する予定でした(文化発表会と合同開催)。しかしながら、新型コロナウイルスの感染症対策の観点から、式典を中止させていただきました。楽しみにしていただいた方々には、誠に申し訳ありませんでした。当日は、文化発表会(合唱コンクール)のみ学年別で実施しました(保護者も学年入れ替え制)。

※ 9/22(木)の体育大会は、緊急事態宣言下であったため、保護者の観覧もご遠慮いただきました。